

アメリカスズカケが帰化している

横 内 文 人*

アメリカスズカケ *Platanus occidentalis* L. は、スズカケノキ科スズカケノキ属の高木である。一般には、プラタナスと呼ばれている。北米東部の原産で、公園や学校等の庭園樹あるいは街路樹として利用されている。

今までにアメリカスズカケの野生化したものの報告はなかった。しかし、ここ数年で長野県内でアメリカスズカケの野生品2例を確認し、標本を採集したので報告する。

1. 安曇野市明科(旧・東筑摩郡明科町)の例では、コナラ群落の中に1本が生育していた。そのときは、道路から近い場所であることから、誰かが庭木などの枝下ろしを処分したものから、発芽・生育したものと想像していた。樹高は、約7mであった。

標本：安曇野市明科七貴下押野 550m (SHIN65799, 65800, 2005年9月9日, 横内文人)。

2. 東筑摩郡生坂村の例では、5本が確認できた。生坂ダムの右岸には車道に沿って歩道(幅は1.45m)が作られている。即ち歩道は生坂ダムの水面上に高さ2.5mほど張り出すようになっている。ダムの石垣は歩道の下に隠れている。この石垣の透き間からアメリカスズカケ5本が生育していた。

このうち4本は樹高は約3mほどで、太さもほぼ同じである。同じところに生育を始めたものと思われる。根元は水面より0.5mほど上にあった。

他の1本は樹高は約6mであった。2本の太枝は、上部が伐採されていた。柵を乗り越えて根元まで下りて見ると、根は石垣に食い込み、ちょうど水面が根の位置であった。根回りは、0.97mであった。幹の太

さからみて相当以前から生育していたと考えられる。またこのような場所に植栽したとは考えられない。上流から種子の供給があつて、発芽し生育したものであろう。

標本：東筑摩郡生坂村生坂ダム 497m (SHIN67339, 67340, 2006年10月10日, 横内文人)。



以上の2例から、アメリカスズカケは新帰化植物として長野県の帰化植物目録に追加する。

なお、アメリカスズカケと同様に生坂ダムの石垣に生育している植物は、オニグルミ、カスミザクラ、キブシ、キリ、クロバナエンジュ、ケヤキ、スルデ等であった。

* 横内文人 〒399-7402 松本市会田110